

1. 事業説明シート

事業名	急傾斜地崩壊対策事業 [急傾斜地崩壊対策事業 (国補)]	事業箇所	山梨市牧丘町室伏	地区名	室伏の4 (ムロフシノヨン)	事業主体	山梨県																																						
(1) 事業の概要				(3) 事業の妥当性評価																																									
<p>①課題・背景</p> <p>室伏の4地区は、山梨県北東部の山梨市牧丘町室伏に位置する急傾斜地であり、平成23年7月11日に土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域に指定されている。</p> <p>当該斜面は、平均斜面高13m、平均勾配37度の急傾斜地で、保全対象には、人家8戸、市道 (避難路) があり、当該斜面が崩壊した場合には、人命に影響のある災害が発生する可能性があるため、事業の実施が急務である。</p> <p>②整備目標・効果</p> <p>□主要目標 ○崖崩れ被害の防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害実績 無 ・保全人家戸数: 8戸 > 5戸以上※ ・重要公共施設の有無: 有 (市道 (避難路)) <p>(保全対象=人家8戸、市道 (避難路) L=165m)</p> <p>※評価基準値</p> <p>□副次目標 —</p> <p>□副次効果 —</p>				<p style="text-align: right;">妥当 妥当でない</p> <p>①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か)</p> <p>急傾斜地法第12条に基づいており、行政が行うことが妥当 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/></p> <p>②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか)</p> <p>急傾斜地法第12条に基づいており、行政が行うことが妥当 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/></p> <p>③経済妥当性</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>総事業費</td> <td>250 百万円</td> <td>工期</td> <td>R6 ~ R14</td> <td>基準年</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>202 百万円</td> <td>便益</td> <td colspan="2">734 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>202 百万円</td> <td>一般資産被害抑止</td> <td colspan="2">185 百万円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>百万円</td> <td>人身被害抑止</td> <td colspan="2">41 百万円</td> </tr> <tr> <td>過去工事費用</td> <td></td> <td>公共土木施設等被害</td> <td colspan="2">12 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>その他※</td> <td colspan="2">496 百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">B/C</td> <td colspan="3">3.6</td> </tr> </table> <p>※その他は応急対策 (家計)、人的被害 (精神的損失)</p> <p>費用便益比 (B/C) は、国の採択基準1.0を超えている。</p> <p>④事業実施・規模の妥当性</p> <p>地形状況を考慮し、必要最小限の規模とした。 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/></p> <p>⑤整備手法の有効性</p> <p>地形・地質状況から急傾斜地対策として最も効果的かつ経済的な施設計画とした。 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/></p> <p>⑥環境負荷等への配慮</p> <p>環境負荷の少ない工法を採用するとともに、必要最小限の掘削とした。 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/></p> <p>⑦事業計画の熟度</p> <p>地元要望に基づいており、山梨市から受益者負担金の同意は得られている。 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/></p>				総事業費	250 百万円	工期	R6 ~ R14	基準年	R5	経済効率性	費用	202 百万円	便益	734 百万円		建設費	202 百万円	一般資産被害抑止	185 百万円		維持管理費	百万円	人身被害抑止	41 百万円		過去工事費用		公共土木施設等被害	12 百万円				その他※	496 百万円		B/C			3.6		
総事業費	250 百万円	工期	R6 ~ R14	基準年	R5																																								
経済効率性	費用	202 百万円	便益	734 百万円																																									
	建設費	202 百万円	一般資産被害抑止	185 百万円																																									
	維持管理費	百万円	人身被害抑止	41 百万円																																									
	過去工事費用		公共土木施設等被害	12 百万円																																									
			その他※	496 百万円																																									
B/C			3.6																																										
(2) 整備内容				総合評価																																									
<p>①整備内容 崩壊土砂防止柵工 H=5.0m L=204m</p> <p>②着手年度 令和6年度 ③完成見込年度 令和14年度</p> <p>④総事業費 約250百万円</p> <p>(国費113百万円(4.5/10)県費113百万円(4.5/10)、その他25百万円(1/10))</p> <p>⑤年度別の整備内容 (事業費)</p> <table style="width:100%;"> <tr><td>令和6年度</td><td>地形測量、地質調査、詳細設計</td><td>20 百万円</td></tr> <tr><td>令和7年度</td><td>用地測量、用地取得、立木補償</td><td>10 百万円</td></tr> <tr><td>令和8年度</td><td>崩壊土砂防止柵工</td><td>30 百万円</td></tr> <tr><td>令和9年度</td><td>崩壊土砂防止柵工</td><td>30 百万円</td></tr> <tr><td>令和10年度</td><td>崩壊土砂防止柵工</td><td>30 百万円</td></tr> <tr><td>令和11年度</td><td>崩壊土砂防止柵工</td><td>30 百万円</td></tr> <tr><td>令和12年度</td><td>崩壊土砂防止柵工</td><td>30 百万円</td></tr> <tr><td>令和13年度</td><td>崩壊土砂防止柵工</td><td>30 百万円</td></tr> <tr><td>令和14年度</td><td>崩壊土砂防止柵工</td><td>40 百万円</td></tr> </table> <p>※記載内容は見込みであり、確定したものではない。</p> <p>⑥既整備内容・期間・事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未整備 				令和6年度	地形測量、地質調査、詳細設計	20 百万円	令和7年度	用地測量、用地取得、立木補償	10 百万円	令和8年度	崩壊土砂防止柵工	30 百万円	令和9年度	崩壊土砂防止柵工	30 百万円	令和10年度	崩壊土砂防止柵工	30 百万円	令和11年度	崩壊土砂防止柵工	30 百万円	令和12年度	崩壊土砂防止柵工	30 百万円	令和13年度	崩壊土砂防止柵工	30 百万円	令和14年度	崩壊土砂防止柵工	40 百万円	[貢献度ランク: a]														
令和6年度	地形測量、地質調査、詳細設計	20 百万円																																											
令和7年度	用地測量、用地取得、立木補償	10 百万円																																											
令和8年度	崩壊土砂防止柵工	30 百万円																																											
令和9年度	崩壊土砂防止柵工	30 百万円																																											
令和10年度	崩壊土砂防止柵工	30 百万円																																											
令和11年度	崩壊土砂防止柵工	30 百万円																																											
令和12年度	崩壊土砂防止柵工	30 百万円																																											
令和13年度	崩壊土砂防止柵工	30 百万円																																											
令和14年度	崩壊土砂防止柵工	40 百万円																																											
				(4) 事業位置図等																																									

2. 添付資料シート

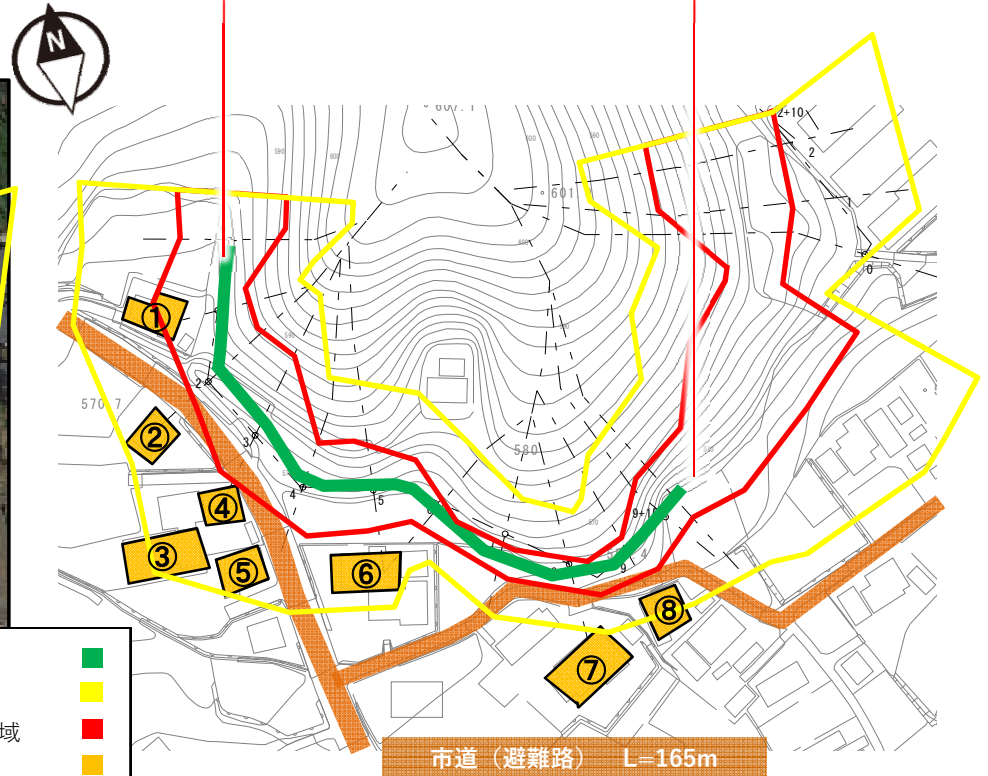
【斜面鳥観図】



20m

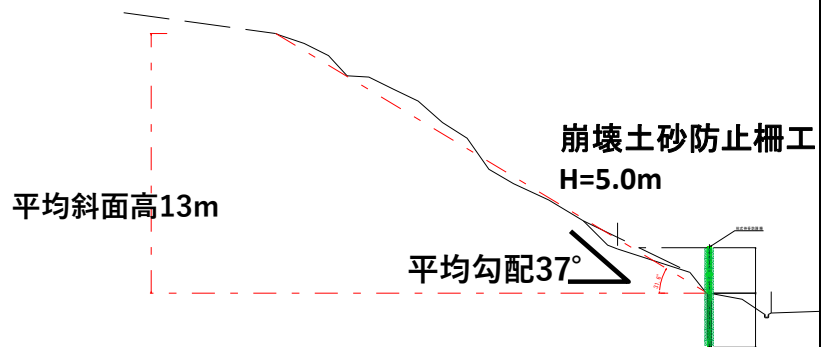
計画範囲
土砂災害警戒区域
土砂災害特別警戒区域
保全対象
道路

【平面図】



市道（避難路） L=165m

【標準横断面図】



①保全対象



②斜面状況

